

回収された海底ごみ。家電製品もあった。高松市上天神町



香川

KAGAWA

高松総局

〒760-0018

高松市天神前2-1

☎087(833)4141

FAX(831)5737

観音寺支局

〒768-0061

観音寺市八幡町1-8-39

☎0875(25)3851

FAX(25)2551

丸亀支局

〒763-0065

丸亀市塩屋町5-10-32

☎0877(22)2450

FAX(25)3081

購読申し込み

専用ダイヤル

0120-22-0843

(9:00~17:00)

購読・配達のご用は

高松 (837) 2802

(866) 3984

坂出 (59) 2370

観音寺 (25) 2016

東かがわ (26) 1028

丸亀 (28) 2980

土庄 (62) 0286

広告のご用は

高松 (861) 4797

折り込みは

高松 (812) 2811

空き缶・エアコン・ストーブ…ごろごろ

瀬戸内 海底ごみの海底

瀬戸内海の海底にはごみが大量にあった。瀬戸内海のごみ問題などに取り組むNPO法人「瀬戸内オリーブ基金(土庄町)とボランティア団体「海守さぬき会」(高松市)は9日、8月25、26日に底引き網漁船などで集めたごみの山を高松市内で公開した。ごみ袋(45袋)約400個分になり、ペットボトルや空き缶、ビニール類などのほか、エアコンやストーブなど家電製品もあった。

同基金などによると、海底のごみ集めは8月25、26日、高松市内の4漁協とともに、漁協の底引き網漁船などを使って引き揚げた。今後、水鳥地域環境再生財団(岡山県倉敷市)の研究者が海域別のごみの種類などを分析する。海底ごみは法的に処理責任が定まっていない。今回は高松市がペットボトルなどについては一般ごみとして無料で処理する。環境省の中国四国地方環境事務所(岡山市)は、瀬戸内海には回収可能な海底ごみが1万3千トンを以上あると推定している。

海守さぬき会の中條慎也会長は「無料で処理してくれることは大きな一歩。市民に海底ごみの現状を知ってもらい、排出抑制にも努めていきたい」と話す。

回収した海底ごみの一部は24、25、28日の3日間、高松市番町1丁目の市役所1階ロビーで展示される。

NPOなど回収、高松で展示へ